



令和5年1月4日

目黒区立祐天寺保育園園長

1月の園だより

新年あけましておめでとうございます。

ご家族で穏やかなお正月を過ごされましたでしょうか。本年も職員一同、子どもたちの笑顔を守ってまいると思います。どうぞよろしくお願いいいたします。

さて12月、寒くなった園庭で1歳クラスの子どもたちが、隅の一角にバスマットをせっせと運んでは立てかけていました。どうやらお家のイメージです。保育士に向かって「おーいおおかみ」と呼びかけました。「入れおくれー」と保育士が入ろうとすると「だめだめ〜」と言いながら逃げまわっては、またお家に帰っていきます。怖い狼に捕まらないように逃げるというごっこ遊びと鬼ごっこの要素が含まれた楽しいやりとりです。2歳クラスや3歳クラスの子どもたちが楽しそうにやっていたのを見ていたのでしょう。自然に遊びが繋がっています。

子どもたちは鬼ごっこが大好きです。幼児クラスではやや複雑なルールを加えながら逃げる緊迫感や助かった安堵感などを味わい、時には仲間と言い合いになりながらも楽しさを共有しています。

昨年を象徴する漢字は“戦”でした。子どもたちにとって鬼ごっこ等は楽しい戦いです。全力で仲間と競って気持ちを繋ぐ経験をたくさんして、人とつながり平和を作るそんな心を育てていきたいと思っています。

【1月の行事予定】

2歳児クラス懇談会
お店屋さんごっこ(幼児)
中旬 避難訓練・身体計測

【懇談会の予定】

2月に、0、1、3、4歳児クラスの懇談会を行います。いずれも16時30分より保育園ホールで行います。ご都合をつけてご参加ください。詳細は別途お知らせいたします。

【子どもたちのつぶやき特集】

(2歳児)

小さな実をつけ始めたカリフラワーを見て…

(子)『ポップコーンだ！ポップコーンがついてる』

(保)「どれどれ？あら、ほんとだね」

白いふわふわの実が
ポップコーンに見えたの
でしょうね。

(3歳児)

ナメクジを見つけて…

(子)『見て！ナメクジだよ。』

(保)「ナメクジ？クジラなの？」

(子)『うん、これから海に行って大きくなって泳ぐんだよ』

ナメクジとクジラを結
び付けて、クジラと思
っているのですね。



(4歳児)

(子)『カラアゲ知ってる？』

(保)「知ってるよ、先生大好きよ」

(子)『私も好き！じゃあ、今度一緒にカラアゲ行こうよ』

(保)「もしかして、カラオケのことかな？」

(子)『うん、そうだよ』

「カラアゲ」と「カラオケ」の
可愛い言い間違えですね。

《3・4・5歳児クラス室内遊びの様子～大きくなったね会を終えて～》

りす組（3歳児）『動物たちの保育園ごっこ』

子どもたちと一緒に家や道に見立て積み木を並べて遊んでいると、一人の子が保育士に「先生役ね」と人の形の積み木を渡してきました。そして「ここは保育園だから」と小さな馬やきりんの動物積み木を大事に抱えお母さんのように「おはようございます」と保育士が持つ人形に話しかけてきました。「おはようございます、元気ですか」と保育士が応えると「元気です、今日は早お迎えです」と言ってその場を離れていきました。すると今度は小さな馬を持ってきて、「お昼ご飯食べよう」と声をかけてきました。それを見ていた子が「馬はニンジンが好きかな、どうぞ」と馬の口元に人参の玩具を向けて食べさせてくれます。また、隣にいた子が「お昼寝の時間ですよ」と積み木をコットに見立てて並べ、その上に動物積み木を寝かせていました。まさに「動物たちの保育園」です。それぞれの保育園での共通した生活経験が、そのまま子どもたちの遊びにつながって、ごっこ遊びとなり楽しんでいました。

友達や保育士と一緒に遊ぶ中でイメージを共有して遊ぶ「ごっこ遊び」の面白さを感じている子どもたちです。



うさぎ組（4歳児）『お化け屋敷ごっこ』

「大きくなったね会」の後に、以前に読んだ絵本の「わんぱくだんのお化け屋敷」を思い出して、子どもたちから「お化け屋敷をやろう」ということになりました。「きりん組さんやりす組さんに来てもらおうよ」と話はどんどん弾み「どうやったらできるかな」「部屋を暗くしなくちゃ」と電気を消したり、机や棚を動かして隠れる所を作ったりと、次々にアイデアが生まれていきました。お化け屋敷内が整うと、今度はお化けの衣装を身に着けて身を隠しお客さんを迎える準備は万端です。試しに保育士がお客さんになって入ってみると、「お化けだぞー」となりきった子どもたちが飛び出してきました。「きゃー、びっくりした」と驚くと、満足そうな様子で「じゃあ次はぼくがお客さんやってみよう」と、役割を交代し「怖かった」「ドキドキしたね」などと目を輝かせて楽しんでいました。「早くきりん組さんたちにも見せたいね」「でもまだ、うさぎ組だけの秘密ね」と、お化け屋敷をする日を心待ちにして当日を迎えました。「大きくなったね会」を通して、自分たちの作ったものを「見てほしい」という気持ちも大きくなり、友達と一緒に考えたり作ったりすることを楽しんで遊んでいます。



きりん組（5歳児）『きりんぐみコンサート』

合奏を楽しむ姿が続いています。何日か経った頃子どもたちから「もう一度見てもらいたい」という声が上がって、『きりんぐみコンサート』を開催することになりました。コンサートの計画を子どもたちと話し合っていく中で「せっかくコンサートするんだからもっと歌も歌おうよ」「じゃあ、何の歌にする？ドレミがいいよ」という意見が出ました。「ドレミの歌」は昨年のきりん組が披露した曲です。合奏と歌と合わせて3曲披露することにしました。自分たちで望んで計画したことなので、練習にも力が入り保育士が指揮をしなくても自分のパートをしっかり覚え繰り返し取り組んでいました。りす組、うさぎ組には「きりんぐみコンサートにきてください」と紙に書いて招待状を作り、「来てくれるかな」とワクワクしながら渡しに行きました。コンサート当日は少し緊張しているような声もありましたが、演奏が始まると堂々とした態度で楽器を鳴らし一体感を感じるほどの演奏でした。その楽しさがお客さんにも伝わったようで、見ていたクラスからは「私たちもコンサートやってみよう」と声があがる程でした。コンサートが終わった後は「すごく楽しかったから、もっとやりたい」と、満足感、達成感を得て生き生きとした表情でした。このことは一人ひとりの自信となりました。その姿は友達と一緒に遊ぶ色々な場面でも見られています。

